

## セレブレーションマラソンについて

### 1 経緯

- 東京 2020 オリンピック 競技大会のマラソンコースの札幌への変更に伴い、令和元年 11 月、I O C のバッハ会長から、I O C と都が東京のマラソンコースを活用し、セレブレーションマラソンを開催することについて提案
- 以下の観点で I O C と協議
  - ・東京 2020 大会のレガシーとするため、一過性のものとせず、継続・定着
  - ・東京 2020 大会パラリンピックマラソンコースを活用
  - ・多くの一般ランナーにとって、より参加しやすくする
  - ・障害の有無に関わらず、若い方から高齢の方、外国人でも参加可能
- 令和 3 年 4 月 28 日、以下のとおり I O C との合意内容を公表

### 2 合意内容

- 東京都は、東京 2020 大会のレガシーを末永く残していけるよう、パラリンピックマラソンコースを活用した東京レガシーハーフマラソンを、東京マラソン財団とともに、令和 4 年秋に創設する。  
障害のある方を含め、一般ランナーからエリート選手まで多くのランナーが参加しやすいハーフマラソン大会とする。  
東京レガシーハーフマラソンの第 1 回を、東京都と I O C は協力してセレブレーションマラソンとして実施する。
- ハーフマラソン大会には、I O C が、オリンピックを象徴するアスリートを招へいするほか、バッハ会長が出席する。  
あわせて、I O C が、子供たちとトップレベルのアスリートが交流し、オリンピックの価値を体験できるスポーツイベントを開催する。
- I O C として、コロナ禍の厳しい状況の中で、東京 2020 大会への協力に対する感謝の気持ちを表す機会とする。

### 3 今後の予定

ハーフマラソン大会及びイベントの具体的な内容について、引き続き I O C、東京マラソン財団、その他の関係者と調整を進め、詳細を決定していく。